

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

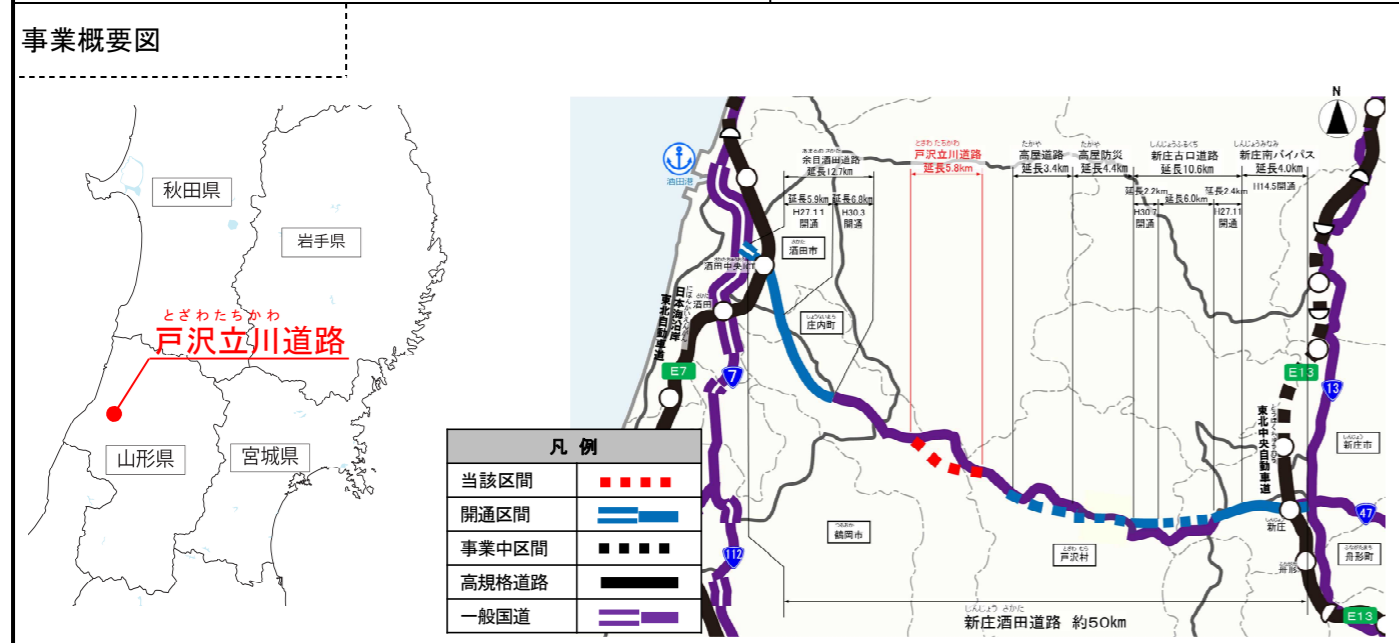
事業の概要

事業名	一般国道47号（新庄酒田道路） 戸沢立川道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：山形県最上郡戸沢村古口 至：山形県東田川郡庄内町狩川	延長	5.8 km		

事業概要
新庄酒田道路は、山形県沿岸部の酒田市と内陸部の新庄市を結び、東北中央自動車道と日本海沿岸東北自動車道を連絡する広域ネットワークを形成する地域高規格道路である。
戸沢立川道路は広域迂回の解消や安全かつ快適な移動の実現を目的とした延長5.8 kmの道路事業である。

事業の目的、必要性
当該事業の整備により通行止めによる広域迂回を解消し、信頼性の高い道路ネットワークを確保する。さらに急カーブ等の道路構造課題を解消し、三次救急医療施設への搬送時における安定性向上を図るとともに、庄内～最上間のアクセス性確保により周遊観光を促進し、地域の観光振興を支援するものである。

全体事業費	約220億円	計画交通量	約12,300台/日
-------	--------	-------	------------



関係する地方公共団体等の意見
【山形県知事】
予算化することについて同意します。
新庄酒田道路は、山形県最上地域と庄内地域を結ぶ地域高規格道路で、東北中央自動車道と日本海沿岸東北自動車道と一体となって、広域道路ネットワークを形成し、物流、産業振興、観光振興、交流人口の拡大、さらには、激甚化、頻発化する災害に備えた道路ネットワークの強靱化の観点から不可欠な道路です。
つきましては、「戸沢立川道路」の令和3年度新規事業化と、早期の開通を宜しくお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R3.2.12）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3	総費用：174億円 （事業費：154億円 維持管理費：20億円）	総便益：232億円 （走行時間短縮便益：188億円 走行経費減少便益：34億円 交通事故減少便益：10億円）	基準年：令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1（交通量 -10%）	B/C=1.5（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.2（事業費 +10%）	B/C=1.5（事業費 -10%）		
	事業期間変動	B/C=1.2（事業期間 +20%）	B/C=1.4（事業期間 -20%）			
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	・注目すべき影響はない		
		事故対策	◎	・事故を起因とした通行止めによる広域迂回を解消 【酒田市役所～新庄市役所間】 現況（迂回時）：164分 ⇒ 整備後（迂回がなければ）：61分		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・道路の構造課題が解消し、最上地域から三次救急医療施設への搬送時における安定性が向上 【急カーブ（R<150m）の解消】 現況：3箇所 ⇒ 整備後：0箇所		
		地域経済	○	・幹線道路ネットワークの強化により、地域連携を支援		
		災害	—	・注目すべき影響はない		
環境		—	・注目すべき影響はない			
	地域社会	◎	・通行止めリスクを低減することで信頼性を確保し、庄内～最上間の広域的な観光振興を支援 【死傷事故件数】現況：14件/4年 ⇒ 整備後：3件/4年（約8割減少） 【所要時間の短縮 山居倉庫（酒田市）～最上川船下り（戸沢村）間】 現況：49分 ⇒ 整備後：43分（約6分短縮）			
事業実施環境	○	・山形県知事、国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会等により、一般国道47号（新庄酒田道路）戸沢立川道路の早期事業化を要望				

採択の理由

費用便益費が1.3と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、地域連携を支える道路ネットワークの強化、交通安全の確保等、当該事業の整備の必要性・効果が高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
当該区間の整備により、現道の劣悪な走行条件や信頼性の改善により、安全・安心な走行を確保するとともに、観光交流・連携や高次医療サービスを支援に寄与されるものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	国道47号は新庄市と酒田市を最短で結ぶ幹線道路であるが、幅員が狭く、急カーブ連続箇所があり、冬期は地吹雪や路面凍結、堆雪により更に走行環境が悪化。また、通行規制時の全面通行止め割合が約6割と高く、全面通行止め時には距離にして約3倍、時間にして約2倍もの迂回が必要となり、走行性が低く、脆弱な道路ネットワークが課題。	※第3次山形県総合発展計画(H29.3) ・高速道路、地域高規格道路等の整備促進 ※第2次庄内町総合計画(H28.4) ・地域高規格道路新庄酒田道路の早期建設に向け、余目酒田道路の早期完成供用と未事業化区間の早期事業化について、沿線自治体などと連携し、関係機関に積極的に要請します。 ※第4次戸沢村総合計画(H23.4) ・高速道路の整備促進、国道47号の改良整備
住民生活	最上地域は心疾患系の医師が少なく、心疾患等の患者の一部は庄内地域（日本海総合病院）へ転院搬送されるが、唯一のアクセス道路である当該区間は、患者の安静搬送や冬期の走行性に課題。	※第3次山形県総合発展計画(H22.3) ・救急搬送、受入体制の強化等、脳卒中や心疾患などの急性期医療が必要な疾患に対する提供体制の充実
地域経済・地域社会等	酒田港のコンテナ貨物取扱量は近年増加傾向で、内陸部を発着地とする貨物のうち約8割が国道47号利用の輸送。酒田港へのコンテナ輸送ルートの更なる機能向上において、冬期の走行性低下、幅員狭小による事故の危険性、通行止めの発生リスクが課題。	※第3次山形県総合発展計画(H22.3) ・国際定期コンテナ航路の利用拡大に向けた取り組みの推進
その他		

事業の有効性									
・当該区間の整備により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、累積脆弱度の減少により、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが確保されるとともに、救急医療活動や広域観光振興、地域産業の活性化を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	新庄市	酒田市	6	1.00 [D]	1.00 [D]	▲14.4	0.02	0.00	○

事業の効率性	
計画段階評価手続き完了（R3.2）	